

2017年2月16日

システム鉄骨「JFE フレームキット」が 新宿駅東南口高架下の観光案内所とイベントスペースに採用

JFE鋼板(代表取締役社長・小倉康嗣)の独自工法であるシステム鉄骨「JFE フレームキット」が、新たな用途として新宿駅東南口高架下の観光案内所とイベントスペースに採用され、このほど完工しました。

フレームキットは、木造軸組工法(在来工法)と同様の構造形式ですが、柱、梁、筋交、土台などの各部材に、防錆性能にすぐれた亜鉛めっき鋼板製鉄骨を用いた工法です。高い耐震性と耐久性を実現し、設計から製造までの一貫した独自の設計システムによる自由度の高い設計が可能で、かつボルト接合により簡略化された建て方による容易な施工性などの機能を備えています。2000年に販売を開始して以来、首都圏を中心に約 1000 棟の実績があり、2016 年度は 67 棟(2013 年度比 76%増)に採用される見通しです。

建物は、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え「新宿駅東南口に新たなにぎわいを創出する」をテーマに文化観光発信拠点の一つとして、国際観光都市・新宿のブランド力向上を目指し建てられました。3.5 ヶ月という短工期施工が要求される一方、施工場所が新宿駅南口前を横断している甲州街道の高架下であり、重機も入りづらい駅前の狭小な土地であるため、使用部材の軽量化や耐火建築物への対応も求められましたが、すべてのニーズを満足するフレームキットの特徴が評価され、今回の採用に至りました。

フレームキットは、これまで軟弱地盤や狭小地に建つ集合住宅や高齢者施設、店舗を中心に採用されてきましたが、今回初めて高架下の建物に採用されました。都市部の商業地域では、道路や鉄道等の高架下への商業施設の建設は増えていくと考えており、フレームキットの商品優位性をPRし、今後さらなる拡販に努めてまいります。

【建物概要】

- ・ 店舗名:新宿区観光案内所
- ・ 構造:鉄骨軸組ブレース構造
- ・ 用途:飲食店
- ・ 用途地域:商業地域
- ・ 事業主:株式会社ルミネ



「新宿観光案内所」外観（運営：一般社団法人新宿観光振興協会）



「フレームキット」外観（施工写真）